

④【長岡赤十字病院】

住 所	〒940-2085 新潟県長岡市千秋2-297-1		病床数：592床
診療科目	内科、循環器科、神経内科、精神科、小児科、外科、整形外科、リウマチ科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科、歯科・口腔外科、消化器外科、病理診断科、救急科		
研修責任者名	竹内 学（消化器内科部長）	連絡先：kensyu@nagaoka.jrc.or.jp 0258-28-3600（代表）	連絡先担当者名：片山 涼子 （教育研修推進室主事）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 16年度：0人、17年度：0人、18年度：0人、19年度：0人、20年度：3人、21年度：2人、22年度：4人、23年度：3人、24年度：1人、25年度：2人、26年度：1人、27年度：1人、28年度：0人、29年度：1人、30年度：1人、令和元年度：1人、2年度：1人、3年度：1人、4年度：2人 ・その他プログラム採用 16年度：6人、17年度：5人、18年度：8人、19年度：5人、20年度：4人、21年度：8人、22年度：7人、23年度：8人、24年度：8人、25年度：8人、26年度：8人、27年度：10人、28年度：9人、29年度：9人、30年度：11人、令和元年度：11人、2年度：11人、3年度：11人、4年度：12人		
研修受け入れ可能診療科※	学会認定専門医数	学会認定指導医数	
必修：内科（循環器、呼吸器、消化器、内分泌、腎臓、膠原病、血液）、神経（神経内科もしくは脳神経外科）、外科（消化器）、産婦人科、小児科、整形外科、救急科 選択研修：心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、眼科、麻酔科、形成外科、放射線科、病理診断科、総合診療科、緩和ケア科	内科（総合内科）26人、（循環器）3人、（呼吸器）6人、（消化器）7人、（消化器内視鏡）5人、（肝臓）3人、（透析医学）4人、（内分泌）1人、（腎臓）2人、（血液）6人、（神経内科）5人、（リウマチ）4人、外科（一般外科）15人、小児科10人、産婦人科5人、麻酔科4人、心臓血管外科3人、呼吸器外科2人、整形外科9人、脳神経外科3人、皮膚科0人、泌尿器科3人、眼科3人、耳鼻咽喉科1人、小児外科1人、形成外科1人、放射線科3人、病理2人、救急3人	内科（総合内科）14人、（呼吸器）3人、（消化器）5人、（消化器内視鏡）2人、（透析医学）1人、（内分泌）1人、（腎臓）2人、（血液）5人、（神経内科）4人、（リウマチ）3人、小児科3人、外科（一般外科）7人、産婦人科3人、脳神経外科3人、泌尿器科3人、小児外科1人、病理1人	
施設の概説・特徴			
がんの集学的・集団的治療、救命救急医療を二本柱に中越地域の基幹病院として医療を担ってきている。この他総合周産期医療、非血縁者骨髄採取施設、神経難病基幹協力病院など、各々の症例数も多くさまざまな研修が可能である。また、新潟県の基幹災害拠点病院であり、研修中の度重なる地震や水害時には研修医も医療救護職員として活躍した。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
内科：循環器、呼吸器、消化器、腎・膠原病、内分泌、血液、神経内科の分野に分かれているが、各科検討会の他に週1回内科検討会を行い、専門外の勉強会を行っている。 外科：消化器外科は悪性腫瘍が主で、その他良性疾患などバラエティに富んだ疾患を経験でき、研修の際は基本的な外科手技と全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。 脳外科：脳血管障害、脳外傷の治療や血管内治療、脳腫瘍、機能脳神経外科などの中枢神経系疾患全体の診療を行っている。 整形外科：リウマチ科、関節外科、手の外科、脊椎外科の専門医がおり、外傷学から特殊疾患・手術まで症例は豊富である。 心臓血管外科・呼吸器外科：開心術、肺癌をはじめ腹部大動脈瘤、末梢血管など豊富な手術を経験できる。 泌尿器科：腎、膀胱、前立腺の悪性腫瘍の根治手術、経尿道的内視鏡手術、腹腔鏡手術を高いレベルで積極的に行っている。 眼科：診療範囲は広範囲で手術数も多い。 耳鼻咽喉科：めまい患者さんから腫瘍の手術まで幅広い研修が可能である。 小児科：新生児集中治療室を有し、一次医療から専門医療まで幅広い診療を行っている。 産婦人科：分娩数は月50件以上あり、手術も多い。総合周産期母子医療センターとして周産期医療に力を入れている。 麻酔科：年間3,000例を超える手術の麻酔管理の術後管理まで経験できる。 救急科：救命救急センターとして3次救急患者の搬送を365日受け入れており、ICU病棟等での全身管理も行う。 皮膚科：手術、レーザー治療、褥瘡回診、病棟往診など、幅広く治療にあたる。 形成外科：顔面外傷などの外傷や、先天性疾患から再建手術まで、多くの治療を経験できる。 放射線科：画像診断、放射線治療まで経験できる。 病理部：月1回のCPCを主催し、臨床に直結したデータと先進的な検索手段を研修できる。			
研修の概説と特徴			
1年目に内科（[循環器、呼吸器、消化器、腎・膠原病、血液]を4週間ごとにローテーションする）を6ヶ月、救急4週間、整形外科、外科、小児科、産婦人科、神経（または脳神経外科）を4週間、内分泌・病理を合わせて4週間研修する。 2年目は救急を4～5週間、精神科（協力型病院）・地域医療を4週間ローテーションする。選択研修期間は9ヶ月として、研修可能な診療科を自由に選択できる。また、選択研修期間は長岡市内の長岡中央総合病院、立川総合病院等でも研修できる。			
研修医の当直			
長岡市の救急体制は3病院（長岡中央総合病院、立川総合病院）での輪番制になっており、救急当番日には上級当直医の指導のもと、救急外来の日当直を希望して入ることができる（ただし、基幹型研修医との調整が必要）。また、この他にも産科日当直や小児科日当直に入ることができる。			
処 遇			
<ul style="list-style-type: none"> ●給与：1年次（月額基本給）380,000円、2年次（月額基本給）460,000円（諸手当）時間外・宿日直・休日手当、出張旅費年間150,000円・論文投稿年間100,000円補助 ●食事：昼食は職員食堂や売店。夕食は職員食堂に配達を依頼できる。 ●宿舎：借り上げ宿舎あり（月額18,000円＋駐車場5,000円の自己負担、光熱水費除く）、個人準備住居手当あり（上限28,500円）病院周辺に民間アパート多数あり。 ●居室：研修医専用の居室あり。 ●図書：24時間利用可能。各領域の主要学会誌、各種ジャーナル、インターネット環境も整備されている。 ●インターネット環境：図書室の他に各自のPCにも接続可能。 			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。なお、診療科の選択については、要相談になります。